

令和7年度

筑波大学大学院
人文社会ビジネス科学学術院
ビジネス科学研究群
法学学位プログラム（博士後期課程）

入学試験問題

[外国語]

英 語

(2024 年 9 月実施)

[注意事項]

答案用紙は、2 枚使用し、裏面は使用しないこと。

以下の文章（出題用に編集している）について、問1から問5に答えなさい。

本文については、著作権法により公表しておりません。

(Jingchen Zhao & Beatriz Gómez Fariñas, *Artificial Intelligence and Sustainable Decisions*, 24
EUROPEAN BUSINESS ORGANIZATION LAW REVIEW 1, 32-33 (2023))

AI: artificial intelligence

CSR: corporate social responsibility

問1 下線部①における“**It**”が何を指しているか、簡潔に説明しなさい。

問2 下線部②においてどのように“**artificial intelligence is a double-edged sword**”と言えるのか、説明しなさい。

問3 下線部③を日本語に訳しなさい。

問4 下線部④における“**this objective**”とは何か、簡潔に説明しなさい。

問5 この論文において筆者は何を主張したのか、簡潔に説明しなさい。

令和 7 年度

筑波大学大学院
人文社会ビジネス科学学術院
ビジネス科学研究群
法学学位プログラム（博士後期課程）

入学試験問題

[専門科目]

（2024 年 9 月実施）

[注意事項]

1. 問題のうちいずれか 1 問について 答えなさい。
2. 解答に当たっては、どの問題を選択したかを明示しなさい。
3. 選択した問題が明示されていない場合には、問題 1 に対する答えとして採点するので、注意すること。
4. 答案用紙は、2 枚使用し、裏面は使用しないこと。

問題 1

法人が借地権を設定した場合に、権利金を収受する慣行があるにもかかわらず、権利金を収受しなかった場合に行われる権利金の認定課税の内容と考え方について説明するとともに、権利金方式以外の方法で、権利金の認定課税を回避する方法について説明しなさい。

問題 2

試験・研究のためにする実施（特許法 69 条 1 項）について論じなさい。

問題 3

労働法における間接差別法理について、これがどのような法理であることを説明した上で、日本の労働法における同法理の現状及び、課題（課題の有無、課題ありとする場合はその内容及び課題解決のあり方）について論じなさい。

問題 4

いわゆる「所有者不明土地」の解消に向けた民事基本法制の見直しとして行われた法改正と立法の具体的内容について説明し、これらの規律の実効性について、それぞれ論じなさい。